

San-iku 通信

社会福祉法人賛育会の広報誌「さんいくつうしん」

TAKE FREE

賛育会
チャリティー
コンサート
2023
10/4開催
の様子



REPORT

Vol. **38**
2023 AUTUMN

多くの支えのなかで賛育会は活動しています

賛育会病院建て替えの第一歩：外来棟西館解体に向け「事務棟」の建設工事が進んでいます。

社会福祉法人賛育会「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」の開始について



多くの支えのなかで賛育会は活動しています

賛育会は、地域の方をはじめ多くの方々に支えられ活動しています。
介護・保育・医療の現場から、支援の活用を紹介します。

地域の小学生とともに看板を制作しました

相良清風園
(静岡県牧之原市)



相良清風園では、施設工事で道路に面した植栽を一部撤去した跡地に、職員の発案で、萩間小学校の協力を経て看板設置の準備を進めてきました。同校は今年度創立150周年を迎え、その記念として看板制作協力にご快諾いただきました。夏休みの数日をかけて児童3名が中心となって描かれた原画から看板を作成、8月24日の相良清風園の夏祭りにおいて、子どもたちを招き、お披露目会を行いました。鮮やかな色彩の看板は、前を通るたびに癒される素敵なオブジェとなりました。

またこの看板の設置にあたっては、本年4月にご利用者(1月に逝去)のご遺族からいただいた寄付金の一部を活用させていただきました。

保護者の方のご寄付への思いを大切に

さんいく保育園清澄白河
(東京都江東区)

当園を卒園したお子さんの保護者より、保育園へのご寄付をいただきました。その方は、お子さん2人がさんいく保育園清澄白河在園中に大変お世話になった感謝の気持ち、そして、保育園が子どもの成長に大きな役割を担っているという思いからご寄付くださいました。

園より感謝とお礼をお伝えした際、「園に寄付金を置いておくのではなく、ぜひ必要なものに使っていただきたい」とのご要望をいただきました。ご要望について職員で話し合い、来夏に備え、子どもたちも大好きな水遊びに使用できる組み立て式プールを購入しようと考えています。



「競輪とオートレースの補助事業」により 特殊浴槽を整備しました

賛育会病院
(東京都墨田区)



この度、公益財団法人JKAより「競輪とオートレースの補助事業」において補助金をいただき、2023年9月に賛育会病院5階病棟の入浴設備を新しくしました。

新しく設置された最新型の機械浴槽は、特殊フィルターによりお湯は常に清潔に保たれ、浴槽へはストレッチャーでスムーズに移動ができ、静かにゆっくりと昇降するので患者さんにも安心して入浴していただけます。患者さんの入浴を安全でより快適に行えるように活用していきたいと思っております。

入浴介助における身体的負担も軽減され、職員も大変感謝しております。

賛育会病院建て替えの第一歩

外来棟西館解体に向け 「事務棟」の建設工事が進んでいます



前号でお伝えした「事務棟」の建設工事が進んでいます。7月に着工後、地中の埋設物の除去、土が崩れないように土留めの設置、建物の基礎となる杭打ち工事と、見た目では変わりはないように見えて、着々と進んでいます。

年末には、セブンイレブンと法人事務局の間に建設する「玄関棟」にも着工する予定です。

引き続き、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



駐車場の看板類や車止めの撤去から始まり…

アスファルトをきれいに剥がした更地に、土留め設置後、基礎工事が始まっています。



社会福祉法人 賛育会

賛育会病院 賛育会将来構想特設サイト

賛育会病院建て替えと、賛育会病院太平地区再整備・立花地区整備事業の特設サイトを公開しました。今後の工事進捗や詳細を随時更新予定です。

詳しくはこちら

https://www.san-ikukai.or.jp/sumida/hospital_ss/



社会福祉法人 賛育会

「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」の開始について

賛育会は105年の歴史の原点に戻り、新しい現代的な使命に向けて歩み出します。「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」、即ち「妊娠SOS相談」、「内密出産」、「“赤ちゃんポスト”の設置」を2024年度中に開始する予定です。

賛育会(創立1918年)の原点は、困窮下にある母子の保護・保健・療養のための無料診療所です。創立以来、約34万人の赤ちゃんの出産を支えてきました。

昨今、予期せぬ妊娠や孤立出産の悩みを抱える女性の増加や、嬰兒の遺棄等痛ましい事件が発生しています。悲劇の背景には貧困や虐待・家庭崩壊、ジェンダーなど様々な社会課題があります。

賛育会病院には地域周産期母子医療センターとして新

生児集中治療室を有する新生児小児科と産婦人科、母子支援室があります。母子支援室に寄せられる相談内容は、虐待・生活保護・低所得・若年妊娠等の悩みを抱える特定妊婦、無保険・外国籍の方等多岐にわたり、その背景は複雑で様々です。分娩に関して言えば、健診未受診の妊婦による出産に対応する体制もあります。

「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」は、行政機関とも連携してより一層その体制を整えていきますが、本来はこのような活動が「不要な社会」を目指して取り組むものです。本プロジェクトは、母にとって最後の砦であり、赤ちゃんのいのちにとっての最初の一步となります。「誰かの問題」ではなく、ともに生きる社会のための「私たちの問題」、使命です。

(赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト事務局長 大江 浩)



平和を祈る クリスマス



賛育会は地域の教会の祈りと奉仕にも支えられています。賛育会評議員でもある日本キリスト教団東駒形教会の酒井 薫牧師にメッセージをいただきました。

イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。
マタイ福音書2章1節



クリスマスを迎える時期になって 日本キリスト教団 東駒形教会牧師 酒井 薫

“ベツレヘムで生まれたキリスト”

本来クリスマスと聞いて、嬉しく、楽しく、楽しみにする方々は少なくないだろう。しかし、2023年10月、重苦しい気持ちにならされている。聖地イスラエル、エルサレム、パレスチナ自治区ガザで、戦争が起っているからである。戦死者が数千人。特派員は、いつでも隠れられるようにとシェルターのそばでの映像を発信し、ロケット砲の爆音がする中での中継をしている。聖地で、戦死者が多数、と聞いて悲しくなる。

イエスの誕生地と考えられているベツレヘムはエルサレムから10数キロの南方の町である。この聖地は、ユダヤ教、イスラ

教、キリスト教の三大宗教の聖地である。この三つは、旧約を信じ受け入れている点で同じルーツを持っている。しかし、奴隷にされていたエジプトから脱出したモーセたち一行が目指した、約束の地が、このパレスチナであり、そこで生活していた先住民を追い出して、ここが我が主なる神の与えた土地と住み着いたのがユダヤ人であった。そこからの対立の図式は長期にわたる。

その地に誕生してくださった救い主、イエス・キリスト、平和の主の名によって、争いはもうやめよう、となる12月を祈り求めたい。



INFORMATION

チャリティーコンサート報告

今年で14回目の開催を迎えた賛育会チャリティーコンサートは、10月4日(水)に、すみだトリフォニーホールにて1,000名を超えるご来場をいただき盛会のうちに終了することができました。

多くの皆さまからご賛同をいただけたことに深く感謝申し上げます。これからも人々の心に届く保健・医療・福祉・保育を実践してまいります。



施設
通信



たちばなカフェオープン! たちばなホーム(東京都墨田区)

9月29日に第1回目のたちばなカフェを開催しました。たちばなホームの向かい側にある「すみだステップハウス おおぞら」のご利用者たちとたちばなホームのご利用者が喫茶をおもてなししながら自己紹介をし、共同で制作した作品の完成披露を行いました。

「すみだステップハウス おおぞら」は重度の障がいがある方が通所し、日々の活動を通して生活経験を広め、生きがいのある日々を送れるよう支援する施設です。

たちばなカフェ以外でも、たちばなホームの花壇での園芸や散歩時の休憩場所として地域交流スペースを利用し交流をはかっています。今後、たちばなカフェでは、地域の方とも交流できる場として活動を広めていきます。

(たちばなホーム管理栄養士 渡邊ちひろ)



賛育会へのご支援のお願い

賛育会では、いのちの授業や子ども食堂、高齢者の居場所づくりなど、60を超える様々な地域支援活動を行っています。皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

詳しくはこちらをご覧ください

賛育会ホームページ

「賛育会へのご支援のお願い」

(<https://www.san-ikukai.or.jp/participate/>)



San-iku 通信

San-iku通信 Vol.38 2023年 秋号

編集:賛育会法人事務局

発行人:中村 基信

発行所:社会福祉法人 賛育会

印刷:(有)エースプリント (20231026-6900)

社会福祉法人 賛育会

〒130-0012 東京都墨田区太平3-17-8

URL <https://www.san-ikukai.or.jp/>

お問い合わせ

TEL:03-3622-7614

